学校番号	４１３

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

感じ取ったことを表現するための基本的技能を身につける「絵画，彫刻」、楽しく生活に生かせる造形性をつける「デザイン、クラフト」他の人の作品のよさや優れた点を感じ共感することができる力をつける「鑑賞」の分野について学習します。美術は楽しい役に立つと生徒１人ひとりが実感することが目標です。

2　学習の到達目標

1 年の美術の土台の上により深く技能修得、表現の多様性を学ぶこととともに、生活で役に立つ楽しめる作品を制作することで、美術は楽しいと言う心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞と鑑賞の能力を伸ばし美術文化について理解を深める

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。 他の人の作品もよく鑑賞する。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術2について	・オリエンテーション 美術Ⅰをもとにステップアップより理解を深める	○	○	○	○	a:美術Ⅰをもとにより深く、広く作品づくりに取り組む意欲を高める b:対象を見つめて形体の特徴をつかみ構成など工夫する c:クロッキーの目的を理解し鉛筆の特性を生かして表現している d: 教科書、先輩の作品等を見ながら、美術の動きや文化についての理解を深める	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・作品
	素材を掻き分けよう	「鉛筆デッサンⅡ」 ・エンピツの使い方の復習	○	○	○	○	a:すべての基礎のデッサンをステップアップして、より深く、表現しようとする意欲 b:二つの材質も、形もちがう物体を構成し、関連をもたせて表現するために構成を練る c: 素材の違いをエンピツで表現することができる d:自分の作品、他人の作品を見ることによってより客観的に理解を深める	・制作の様子 ・制作途中の作品 ・作品 鑑賞ワークシート
	スターを描く(パネル作品)		○	○	○	○	a:どんなスターを描くか関心を持って取り組もうとする意欲 b:好きなスターをどう表現するか構想を練っている c:よく写真、コピー等を観察してエンピツデッサンをする。しっかりと肌感までかく。しっかりとデッサンされた作品の上に 1 色でうすく彩色することによって、より完成度のある作品ができあがる d:他の生徒の作品のよさや美しさ、表現のたしかさ、工夫などを感じ取り作品に理解を深める	・制作の様子 ・制作途中の作品 ・作品 ・鑑賞ワークシート

2学期	木工パズルをつくろう	[クラフト] 木工パズルをつくろう	○	○	○	○	a: 木工パズルとはどんなものか理解して自分しかつくれない作品づくりに取り組む意欲がある b: どのような組み合わせでつくるのか、先輩の作品とか参考にしながら創造的な表現の構想を練っている c:パズルを美しく仕上げるための具体的な技能（糸鋸、ペーパーがけ、彩色、ニスぬり）工夫と修得がなされているか d:作品の仕上げとして写真を撮り友達同士でパズルを楽しみ、お互いに意見の交換をする	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品
		校内展示 (アートフェアー) (次年度の文化祭)	○			○	a：自分の作品を自分で展示することによって、展示のしかた見せ方を学ぶ d：自分の作品だけでなく、他の人の作品もよく鑑賞し、楽しむことができる	鑑賞ワークプリント
3学期	彫刻をしよう	「ミニチュア彫刻をつくろう」 高麗石をつかってミニチュアの彫刻にチャレンジする	○	○	○	○	a: 彫刻とはどんなものなのか関心を持たせて実際は彫ることによって作品をつくることを理解させ意欲を持たせる b: 限りある大きさの石を彫るので失敗はできません。そのため、どんな物をどのように表現して彫るとよりよい作品になるか判断し、工夫をこらし練っているか c: 糸鋸の切り方、彫刻刀の使い方等、工夫してよりよい作品にしようと追求しているか又技能はしっかりと修得しているか d: 他の生徒の作品も大切にし、お互いに助け合って制作に取り組むことができているか	ワークシート 制作途中の作品 制作の様子 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。